

令和7年度 第2回 藤沢市立大清水中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年7月16日（火）14時30分～16時30分

場 所 大清水中学校 相談室

出席委員等	<p>安藤 正俊（会長／三者連携ふじさわ大清水心のかげはし会 会長） 山下 尚子（副会長／大清水中学校 校長） 吉田 正彦（大清水中学校 第9代校長） 三木 英正（県立藤沢清流高校 校長） 吉田 純（地域学校協働本部コーディネーター） 小西 智子（藤沢東部地区主任児童委員） 橋本 幸直（藤沢市民センター センター長） 野際 良介（聖園子供の家 施設長） 磯貝 憲一（社会体育振興協議会） 皆川 沙登美（大清水中学校 大清水の会本部役員） 坂口 由紀（大清水中学校 教頭） 丹下 敦子（大清水中学校 教務主任）</p> <hr/> <p>出席委員：12名（欠席委員：0名） 事務局：坂口 由紀（大清水中学校教頭） その他出席者：小山教諭（研究主任）・海野教諭、佐藤教諭（道徳担当）</p>
次第	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 会長より3. 学校長より4. 授業参観5. 研究担当より6. 道徳担当より7. その他8. 閉会
協議内容	<p>*授業参観（1年ジュニアライフセービング・2年、3年道徳）</p> <p>5. 校内研究担当（小山教諭）より</p> <ul style="list-style-type: none">・ICTを活用した授業～効果的な活用の実践と工夫～という研究テーマで3年目を迎えた。生徒の支援へ役立てるための実践や、課題が進まない生徒へも効果的な活用方法の協議を学年ごとに行う。3年間の集大成となるような取り組みを進めたい。 <p>6. 道徳授業担当より</p> <ul style="list-style-type: none">・（海野教諭）全学年での共通のルール決め、ローテーション道徳（様々な先生方に見てほしい）を行っている。各クラスのテーマは学習指導要領にある22の内容項目に当てはめ実践している。・（佐藤教諭）本日の授業は『命の尊さ』という内容項目の一つ。教科書導入、

考えを深め、再度教科書に戻るといったやり方で行った。

Q: どのようなやり方をしている→学年の教員が、内容項目に沿ったテーマで授業を構成し、全てのクラスを回る。

Q: 年間は→35時間

Q: 道徳のあり方は変わっているようだが、教科書にあるテーマでの授業か→内容項目に沿った内容であれば、教科書以外の教材を使用することもある

Q: ICT機器で壊れたものはどうしてる→市教委と連携し、適宜報告を行っている。活用には裏付けも大事。

【意見】

- ・命に関する授業は、なかなか考えることのない良いテーマだと思う。
- ・10分前とは?のように、日常的な話題・先生方の個性によって授業展開されていて、意図する答えがない中で進めることへの先生方の苦労を感じた。
- ・昔は価値観を伝える場だったが、今は議論する場。先生が答えを出す場ではない。答えのない答えを練り上げていくことは、人間関係を作ることでもあり、また、言葉にする時間があることは自分の考えを深めていくことにもなる。それらの活動は学校生活の柱でもある。
- ・1人1台端末で、一方的な授業ではなく、お互いに意見が言い合えていて良かった。
- ・コロナ後、向かいあって意見を言い合える環境が復活（人と関わることができる）したことが良かった。
- ・意見が違うことを言い合える場面があったことが新鮮だった。以前は先生の考えで導かれた授業だった。今日の授業では、お互いに成長できる時間だったように思う。
- ・自分が道徳を受けたとき「つまらない」と感じていたが、今は楽しそうだった。先生の考え方を押し付けられている様子はなかった。
- ・教室を見ていて、クラスに御札が飾ってあったが、人によっては信教を強制されていると感じることもあるかもしれない。配慮が必要である。

7. その他

- ・集団生活についていくことが難しい場合がある、介助員（資格等は必要ない）を引き受けていただける人を探しています。
- ・10月1日（水）13:45～から防災講演会を開催します。この後、お知らせを送付します。お時間が合えばご参加ください。

次回開催予定 2025年10月22日（水）午後 大清水中学校 図書館